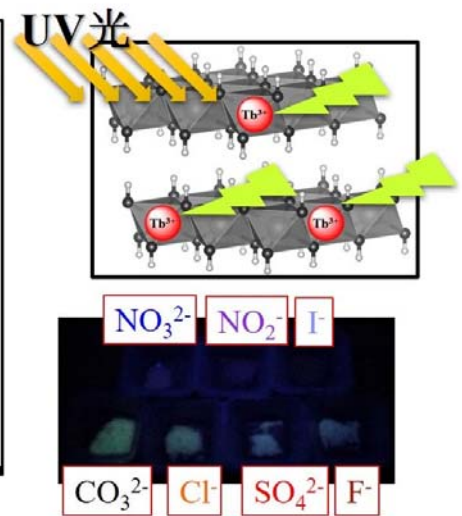
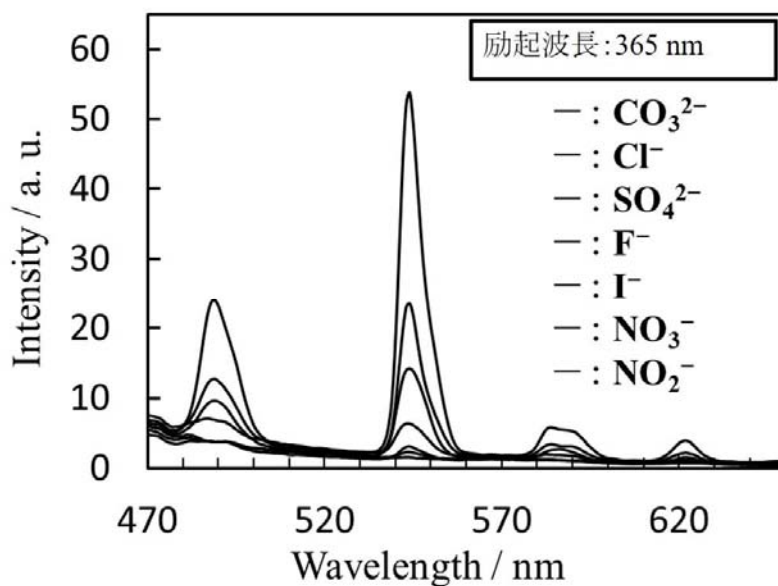




陰イオン検知能を有する 希土類含有層状複水酸化物の創製

総合理工学部 准教授 笹井 亮、助教 藤村 卓也

私たちの研究室では、水中に含まれる有害陰イオンを選択的に検知することが可能な層状複水酸化物（LDH）の創製と応用に関する研究を進めています。そのために私たちは、蛍光灯などに含まれる発光性の希土類イオンを層骨格構造に導入したLDHを合成し、そのLDHの発光性が陰イオンにより変化する機序について調査しています。このような材料が完成することにより、私たちを取り巻く水環境の“清浄性”をリアルタイムにモニタリングできることとなります。それにより状況に応じた水処理を実現でき、水環境の安全性を保つことができるようになります。



【発光特性】

アニオン種により顕著に変化：